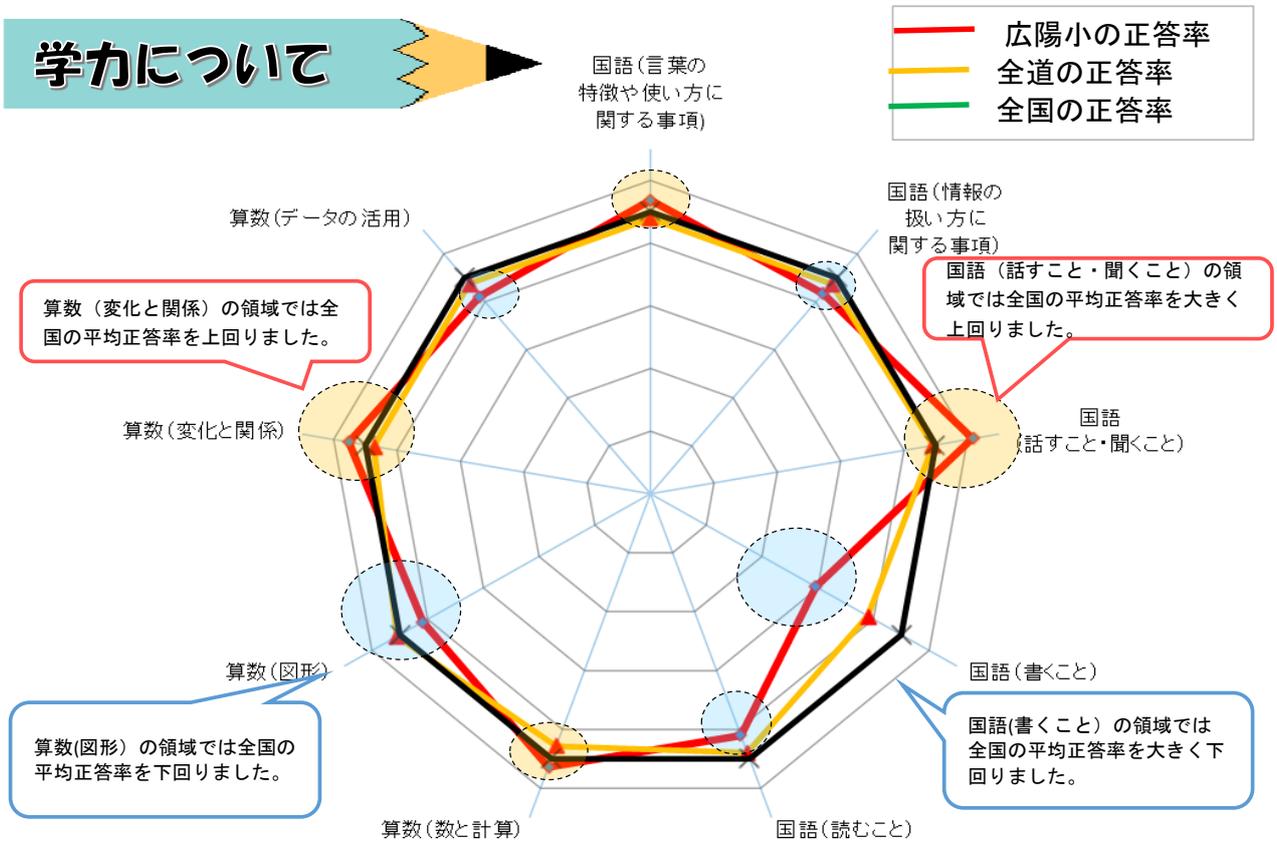


帯広市立広陽小学校 R5 全国学力・学習状況調査の結果について



令和5年度の全国学力・学習状況調査について、本校の結果と今後の取組についてその概要をお知らせいたします。すでに配付した個人票とあわせてご覧いただき、お子様の学習状況の把握と今後の目標設定にご活用ください。

学力について



【国語】

国語においては、全国・全道の平均正答率を上回りました。「書くこと」の領域に課題が残りましたが、「話すこと・聞くこと」の領域においては、日頃の学習の成果が発揮されました。今後は「条件」に応じて記述する力を身に付けることができるよう、授業改善に取り組んでいきます。引き続き全学年で基礎・基本の確実な定着に向けた取組を進めます。

【算数】

算数においては、全国・全道の平均正答率を上回りました。「変化と関係」「数と計算」の領域では全国平均を上回りましたが、「図形」の領域において課題が残りました。課題となった「図形」と「データの活用」の領域については今後、基礎的な内容の習得と活用を意識した指導の充実に努めます。

児童質問紙について

【特に高い割合の項目】

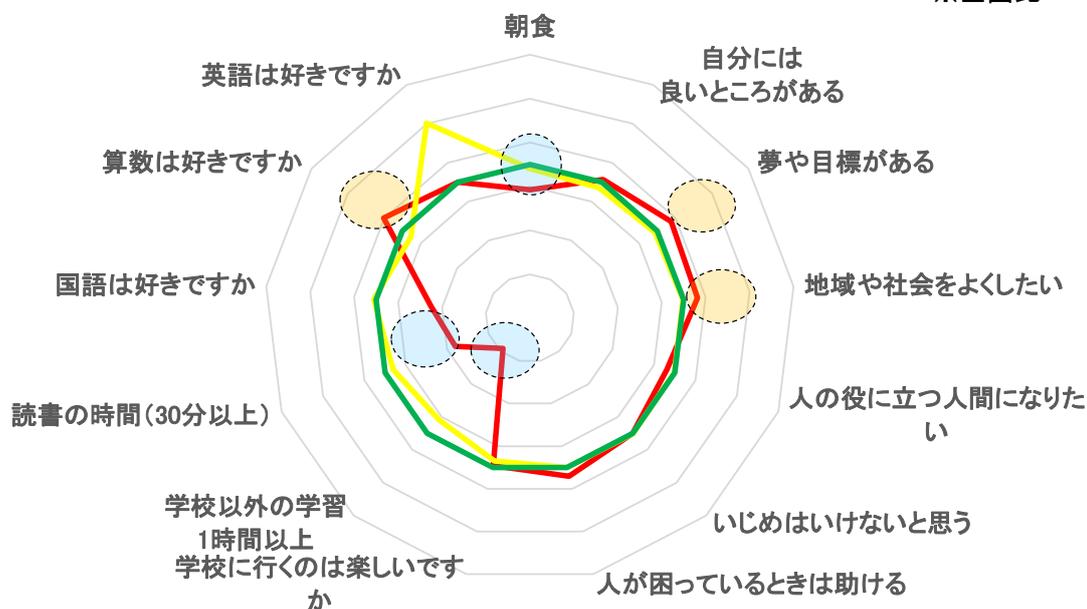
- 夢や目標がある
- 算数が好きですか？

【特に低い割合の項目】

- ▲30分以上の読書
- ▲毎日朝食を食べている

— 広陽 — 全道 — 全国

※全国比



【今回の結果を受けて これからも学校全体で取り組みます】

「全員がわかる、できる授業」「楽しい、もっと知りたい調べたい授業」となるよう
 日常の授業改善に努め、基礎・基本の定着を図りながら学校へ行くのが楽しくなるよう努
 めて参ります。

①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けて、子どもが主語になる授業づくりを進
 めます。

- ・ICTを活用した補充的・発展的な学習・習熟度別少人数指導による指導
- ・ラーニングマウンテンを活用した学習計画

②9年間をつなぐ系統性のある指導

- ・西陵中エリアにおける連続性・系統性のある教育の充実(出前授業)
- ・基礎基本の確かな定着を図る指導

③読書活動や書く、伝え合う活動を通して語彙力を高め、対話や学び合いの時間を大切にします。

- ・読書活動の充実・多読多書の取組

④道徳科の授業を中心として規範意識や自己有用感、所属意識等を更に高めます。

- ・「自分ごと」として考える道徳科の授業・安心できる学級・学校づくりに向けた取組・異学年交流

⑤学習規律を徹底・定着することにより、落ち着いた学習環境づくりを継続します。

- ・「学習のきまり」の徹底・安心して学習できる環境づくり

⑥家庭学習の習慣化、ゲームやTVの視聴時間の短縮、ふれあいの時間の充実に繋がります。

